

令和6年度ICT活用推進リーダー研修（第1回）

1人1台端末のさらなる活用及び効果的な活用の推進に向けて、各学校において活用推進の中心的な役割を担うICT活用推進リーダーを対象に、標記研修を開催しました。

1 目的 校内のICT活用を推進する企画力・指導力を養成する。

2 日時 令和6年5月16日（木）14:00～16:00

3 研修形態 オンライン

4 研修内容

(1) 全体会

- ・ ICT活用推進リーダーの役割について
- ・ 「おかやま学校教育情報化推進計画」の目標指標について
- ・ 講演

「ICT活用推進リーダーの役割と期待されること～端末活用に関する最新の動向、授業観の転換の必要性を踏まえて～」

講師 中京大学 教授 泰山 裕

- ・ 成果発表

「令和5年度リーディングDXスクール事業について」

発表者 岡山県立林野高等学校 教諭 瀬田 幸一郎

(2) グループ協議

「校内におけるICT活用を推進する研修計画について」



1人1台端末環境で目指す学び

【「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（中教審答申）】

これまで繰り返し述べてきたように、「令和の日本型学校教育」を構築し、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、学校教育の基盤的なツールとして、**ICTは必要不可欠なものである。**

※「ICT」というキーワードは153回登場

1人1台端末環境を基盤とした授業改善

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

今年度、多くの学校で実施される取組

- 学校共通の統一した取組
内 容：授業内容の手書、授業で使用するプリント等をClassroomに掲載し、生徒がいつでも確認できるようにする。
- 学年単位の端末活用状況の把握
内 容：毎月、学年別の会議で教科ごとの端末活用状況を報告し、全体的な活用情報の把握と課題の明確化を図る。
- 「情報共有を行うChatやClassroomの活用」
内 容：端末を活用した授業改善事例や受講した研修の内容等を日常的に共有する。
- 「授業公開授業」
ねらい：全ての教職員が端末を活用した授業公開を行い、参観した授業の端末活用や学び方を協議することにより、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を推進する。
対 象：全教職員
回 数：年間2回
- 「職員会議ごとのミニ研修」
ねらい：教科指導における活用事例の共有、アプリ活用スキル向上を図る。
対 象：全教職員
回 数：毎月の職員会議ごと（年間12回、1回約15分）
内 容：教科指導における端末活用事例発表、アプリの活用方法実習等

1人1台端末があれば

この層が置き去りに

「個別最適な学び」を実現できる

令和5年度学校教育の情報化指導者養成研修 記録文庫（文部科学省研修支援・教材開発）の資料を一部改題